

出雲商工会議所管内 業種別景況 (平成29年10月～12月期)

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年10月～12月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				前期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				今期(平成29年10月～12月期)と比べた 来期(平成30年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	46.4	33.9	19.6	26.8	54.4	28.1	17.5	36.8	15.8	36.8	47.4	△ 31.6
2 採 算	29.8	56.1	14.0	15.8	33.3	50.9	15.8	17.5	17.9	51.8	30.4	△ 12.5
3 仕 入 単 価	30.9	67.3	1.8	29.1	21.8	78.2	0.0	21.8	20.0	72.7	7.3	12.7
4 従 業 員 数					10.7	78.6	10.7	0.0	8.9	87.5	3.6	5.4
5 資 金 繰 り					10.9	81.8	7.3	3.6	5.4	85.7	8.9	△ 3.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	53.6	21.4		3.6		48.2	32.1		19.6	28.6		3.6

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	32.7	7.3	0.0	40.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	12.7	14.5	1.8	29.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	3.6	3.6	5.5	12.7	9 取 引 条 件 の 悪 化	1.8	1.8	0.0	3.6
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	3.6	5.5	3.6	12.7	10 事 業 資 金 の 確 保 難	1.8	10.9	7.3	20.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	10.9	5.5	5.5	21.8	11 需 要 の 停 滞	5.5	14.5	7.3	27.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	1.8	5.5	0.0	7.3	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	1.8	1.8
6 人 手 不 足	14.5	3.6	7.3	25.5	13 そ の 他	7.3	0.0	3.6	10.9
7 人 件 費 の 増 加	0.0	1.8	16.4	18.2	無 回 答	3.6	25.5	40.0	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年10月～12月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				前期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				今期(平成29年10月～12月期)と比べた 来期(平成30年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	42.9	28.6	28.6	14.3	75.0	12.5	12.5	62.5	37.5	25.0	37.5	0.0
2 採 算	12.5	75.0	12.5	0.0	62.5	25.0	12.5	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0
3 仕 入 単 価	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	12.5	87.5	0.0	12.5
4 従 業 員 数					12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0
5 資 金 繰 り					0.0	85.7	14.3	△ 14.3	0.0	100.0	0.0	0.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		25.0	37.5	37.5		△ 12.5		62.5	12.5		25.0	37.5		12.5

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	25.0	12.5	0.0	37.5	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	12.5	37.5	12.5	62.5
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	12.5	0.0	0.0	12.5
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	12.5	0.0	0.0	12.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	12.5	0.0	0.0	12.5	11 需 要 の 停 滞	12.5	25.0	0.0	37.5
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	12.5	0.0	12.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	12.5	12.5	25.0	13 そ の 他	12.5	0.0	12.5	25.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	50.0	50.0	無 回 答	0.0	0.0	12.5	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 運送会社各社から値上げの申し入れが出てきている

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年10月～12月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				前期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				今期(平成29年10月～12月期)と比べた 来期(平成30年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	52.6	21.1	26.3	26.3	57.9	15.8	26.3	31.6	15.8	26.3	57.9	△ 42.1
2 採 算	36.8	42.1	21.1	15.8	42.1	42.1	15.8	26.3	16.7	38.9	44.4	△ 27.8
3 仕 入 単 価	21.1	78.9	0.0	21.1	15.8	84.2	0.0	15.8	15.8	63.2	21.1	△ 5.3
4 従 業 員 数	/	/	/	/	0.0	89.5	10.5	△ 10.5	15.8	84.2	0.0	15.8
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	15.8	78.9	5.3	10.5	5.3	78.9	15.8	△ 10.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		22.2	50.0	27.8		△ 5.6		27.8	61.1		11.1	16.7		5.6

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	66.7	5.6	0.0	72.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.1	11.1	0.0	22.2
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.6	5.6	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	5.6	0.0	5.6
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	11.1	11.1	22.2	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	11.1	16.7	27.8
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	11.1	0.0	11.1	11 需 要 の 停 滞	5.6	11.1	22.2	38.9
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	11.1	0.0	11.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.1	5.6	11.1	27.8	13 そ の 他	5.6	0.0	5.6	11.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	5.6	5.6	無 回 答	0.0	11.1	22.2	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 原材料の値上がり
- ・ 正社員・パートを募集しているが応募者がいない
- ・ 価格競争となっており利益率が低い

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成28年10月～12月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				前期(平成29年7月～9月期)と比べた 今期(平成29年10月～12月期)の状況				今期(平成29年10月～12月期)と比べた 来期(平成30年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	36.4	36.4	27.3	9.1	54.5	27.3	18.2	36.4	0.0	45.5	54.5	△ 54.5
2 採 算	18.2	72.7	9.1	9.1	18.2	63.6	18.2	0.0	0.0	63.6	36.4	△ 36.4
3 仕 入 単 価	63.6	27.3	9.1	54.5	54.5	45.5	0.0	54.5	45.5	54.5	0.0	45.5
4 従 業 員 数					10.0	90.0	0.0	10.0	0.0	90.0	10.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り					10.0	90.0	0.0	10.0	0.0	80.0	20.0	△ 20.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		18.2	72.7	9.1		9.1		54.5	18.2		27.3	27.3		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	18.2	9.1	0.0	27.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	18.2	18.2	0.0	36.4
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	9.1	0.0	9.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	18.2	9.1	27.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	45.5	9.1	18.2	72.7	11 需 要 の 停 滞	9.1	18.2	0.0	27.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	9.1	0.0	0.0	9.1	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	9.1	9.1	無 回 答	0.0	18.2	63.6	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 魚・野菜等の価格上昇
- ・ 原材料が高くなっているのでメニューの見直し

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成28年10月～12月期）と比べた 今期（平成29年10月～12月期）の状況				前期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成29年10月～12月期）の状況				今期（平成29年10月～12月期）と比べた 来期（平成30年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	46.2	46.2	7.7	38.5	38.5	53.8	7.7	30.8	15.4	38.5	46.2	△ 30.8
2 採算	38.5	53.8	7.7	30.8	23.1	69.2	7.7	15.4	15.4	53.8	30.8	△ 15.4
3 仕入単価	16.7	83.3	0.0	16.7	8.3	91.7	0.0	8.3	8.3	91.7	0.0	8.3
4 従業員数	/	/	/	/	23.1	61.5	15.4	7.7	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	7.7	76.9	15.4	△ 7.7	7.7	92.3	0.0	7.7

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		38.5	46.2	15.4		23.1		69.2	15.4		15.4	53.8		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	16.7	0.0	0.0	16.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	16.7	0.0	0.0	16.7
2 大企業進出による競争激化	16.7	0.0	16.7	33.3	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	0.0	16.7	0.0	16.7
5 在庫製品・商品の過剰	8.3	0.0	0.0	8.3	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	8.3	8.3
6 人手不足	16.7	0.0	0.0	16.7	13 その他	16.7	0.0	0.0	16.7
7 人件費の増加	0.0	8.3	8.3	16.7	無回答	8.3	66.7	66.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 同業他社の増加と価格競争
- ・ 新メニュー（サービス）を増やしていきたい
- ・ 業務の効率化を図る

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期（平成28年10月～12月期）と比べた 今期（平成29年10月～12月期）の状況				前期（平成29年7月～9月期）と比べた 今期（平成29年10月～12月期）の状況				今期（平成29年10月～12月期）と比べた 来期（平成30年1月～3月期）の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	33.3	16.7	33.3	16.7	66.7	16.7	0.0
2 採算	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	50.0	33.3	△ 16.7	33.3	66.7	0.0	33.3
3 仕入単価	40.0	60.0	0.0	40.0	0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	20.0
4 従業員数					16.7	66.7	16.7	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7
5 資金繰り					16.7	83.3	0.0	16.7	16.7	83.3	0.0	16.7

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	66.7	16.7		0.0		33.3	33.3		33.3	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	0.0	16.7	0.0	16.7	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	16.7	0.0	16.7
2 大企業進出による競争激化	0.0	16.7	0.0	16.7	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	33.3	0.0	0.0	33.3	10 事業資金の確保難	0.0	16.7	0.0	16.7
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	16.7	16.7	11 需要の停滞	0.0	0.0	0.0	0.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	50.0	0.0	16.7	66.7	13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人件費の増加	0.0	0.0	33.3	33.3	無回答	16.7	33.3	33.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人手不足で受注できない
- ・ 競争が激しく受注金額が低くなり利益に繋がらない
- ・ 消費税増税の話題も出てくるようになった